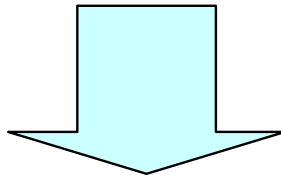


## 【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

### 新事業展開

- A シーズとニーズのマッチング
- B 新規成長産業分野と先端技術との融合、戦略的な取り組みと人づくり<優位分野を軸とした競争力強化>
- C 機能面に着目した重点的な振興
- D 経営戦略面での総合的な支援体制の強化
- E ベンチャー企業への創造的なバックアップ体制
- F 企業のやる気を支えうるフォローアップ



## 【重点的に取り組む課題(想定)】

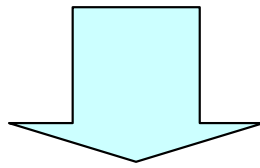
### 新規成長分野における機能面に着目した重点的な振興

滋賀県の素材を活かして発展しうる産業分野「環境、健康福祉、観光、バイオ、IT」と、滋賀県のポテンシャルを最大限に発揮しうる先端技術「ナノ、バイオ、IT」について、産業分野を横断する形で、これらの企業の成長段階に応じてどの機能(起業化促進機能 インキュベーション機能、産業化・事業化促進機能 グローアップ促進機能、立地促進機能など)を育成していくかを考え、滋賀県固有の価値を高めるために、グローアップ促進機能に着目した選択と集中による重点的な取り組みが求められています。

## 【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

### 産学官連携

- A 大学を核とした産学官連携体制の構築
- B 活力と発想を生むヒューマン・ネットワーク形成
- C コーディネート機能の強化とこの機能を担う人の育成
- D 滋賀県の特性を活かした産学官によるクラスター形成等



## 【重点的に取り組む課題(想定)】

### 支援機関によるコーディネート・プロデュース機能の強化

公的機関や大学等による窓口は整備されつつあるが、地域資源を活用して戦略的にコーディネートしていくには、さらなるプロデュース機能の強化が必要である。産学官連携窓口の一元化の機能強化を図るとともに、金融機関や企業OB等の民間の支援機能との連携を一層強化して、プロデュース力を高めることが期待されています。

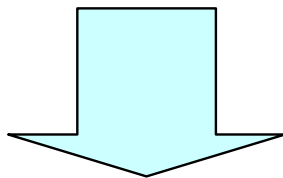
### 分析評価及びプレ・マーケティング機能としての学の活用

これまでの技術研究開発面での取り組みだけでなく、新たな事業化プロセスにおいて、大学の財産を幅広く活用するという視点に立って、産学連携を推進していくことが重要であり、特に、大学による分析評価、学生あるいは教員に対するプレ・マーケティングの場として、今後さらに大学を活用していくことが期待されます。

## 【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

### 科学技術と人づくり

- A 人作り戦略の推進と人材の活用
- B 科学技術を産業へ取り込む仕組みづくり
- C 中小企業連帯のための、場と機会の創出
- D 高付加価値を追求するモノづくり推進体制の確立
- E 中小企業知的財産権の創造・保護



## 【重点的に取り組む課題(想定)】

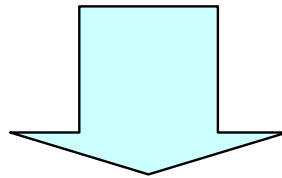
### 質の高い人材の確保と人材育成の仕組みづくり

若年人材の不足により、これまでのような生産力の維持が難しく、サービス供給の低下が生じることへの懸念から、長期的な対策を検討するとともに、優秀な人材を採用するにあたっては、どの分野にどんな人材がいるのかわからないといったことから、人材面のマッチングを検討していく必要があります。

## 【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

### 科学技術と人づくり

- A 人作り戦略の推進と人材の活用
- B 科学技術を産業へ取り込む仕組みづくり
- C 中小企業連帯のための、場と機会の創出
- D 高付加価値を追求するモノづくり推進体制の確立
- E 中小企業知的財産権の創造・保護



## 【重点的に取り組む課題(想定)】

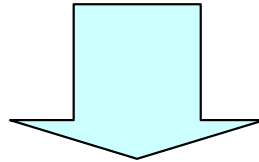
### 産業技術基盤の構築

県内産業技術基盤の構築のためには、川上企業と川下企業の技術的ミスマッチの解消やビジネスマッチング支援が求められており、この意味での大学や公設試験機関、行政のはたすべき役割が期待されています。さらには、技術だけでなくそれらを支える金融や物流などの機能的な社会サービスシステムの整備も求められています。

【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

地域産業

- A 地域コミュニティ等と地域産業との結びつきへの支援
- B 滋賀のブランド力、文化・歴史資源の活用と個店振興
- C 社会ニーズの多様化に対応した新サービス業の創造
- D 地場産業の高付加価値化等に対応する支援体制の構築
- E 新事業展開や産学官連携による総合的な視野での解決



【重点的に取り組む課題(想定)】

まちとしての魅力を発揮するための商店街づくり

商業、商店街などの再活性化と発展に向けては、まちとしての魅力を発揮するための商店街全体のマネジメント力強化や、学生や女性などの新しい力やアイデア、地域コミュニティやNPO活動等の役割とその活力に焦点を当て、やる気をさらに伸ばし、地域産業の振興に結びつけていく、多面的な支援を講じることが求められています。

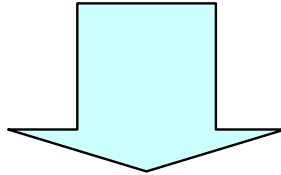
滋賀のブランド力、地域資源を活かした個店振興

滋賀県のブランド力や文化・歴史資源があまり広く知られていない面があり、観光振興とまちづくりの両者の視点でブランドなどの活用が求められています。消費者ニーズと合致した新たなサービスの開発など、消費者の購買意欲を喚起する「個店」としての魅力づくりに着目し、これらをさらに伸ばしていく環境づくりが必要です。

## 【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

### 地域産業

- A 地域コミュニティー等と地域産業との結びつきへの支援
- B 滋賀のブランド力、文化・歴史資源の活用と個店振興
- C 社会ニーズの多様化に対応した新サービス業の創造
- D 地場産業の高付加価値化等に対応する支援体制の構築
- E 新事業展開や産学官連携による総合的な視野での解決



## 【重点的に取り組む課題(想定)】

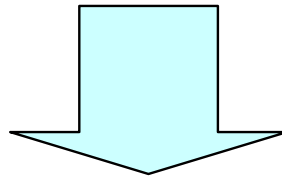
### 社会ニーズの多様化に対応したサービス業の創造

サービス業については、自然や人にやさしいといった環境志向や健康づくりへの関心の高まりなど、今日の社会ニーズの変化や多様化に対応できる、新しいモデルを生み出すことが求められており、産学官連携を最大限に活用した新しいサービス業の創造と展開を促すことが必要とされています。また、核となる企業やサービスが成長していないことやサービスの質や有効性を評価する指標や仕組みが未整備であり、対応が求められています。

【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

産業活動環境

- A ソフトとハード両面からの総合的な環境づくり
- B アジア等とのパートナーシップを重視した国際展開
- C 総合流通・物流機能への取り組み



【重点的に取り組む課題(想定)】

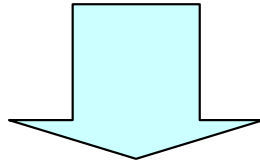
アジア等とのパートナーシップを重視した国際的展開

経済のグローバル化が進展する中、国内外の経営環境を一体的に捉えつつ、海外から活力を導入するという視点と海外での企業活動を図るという視点、また、国内産業の付加価値を高めるという視点の3方向からの対応が求められており、その中でアジアや欧米等とのパートナーシップを重視した滋賀県産業の国際展開を図ることが必要とされています。

## 【現指針における基本的課題(主要テーマ)】

### 雇 用

- A 新しい雇用の受皿づくりに向けた新展開
- B 労働実践型職業訓練等に対する一層の支援体制の構築
- C 滋賀県に最も適した雇用システムの開拓
- D 中高年齢者や若年者に対する雇用対策の推進
- E 新事業展開や産学官連携による総合的な視野での解決



## 【重点的に取り組む課題(想定)】

### 安定的な労働力の確保

少子高齢化の進行により、労働人口が減少し、社会・経済への影響が懸念されることから、若年者や障害者、高齢者、女性など、多様な人材を社会で活かしていく必要があります。

### 産業を支える多様な人材の育成

企業においては、中長期的な視野に立って、現場を支える実践的な経験に裏打ちされた技術・技能、問題解決能力、管理能力など多様な職業能力を有した人材を育成し、企業の現場力を高めていくことが求められています。